

平成31年3月期 第2四半期決算説明会

平成30年11月14日



新製品 X線検査機 AD-4991
(トピックス1〈P.16〉ご参照)



金属検出機 AD-4971

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 1.第2四半期(累計)業績の総括
- 2.第2四半期(累計)の概況
- 3.計測・計量機器事業 実績-1
- 4.計測・計量機器事業 実績-2
- 5.医療・健康機器事業 実績-1
- 6.医療・健康機器事業 実績-2
- 7.財務分析(貸借対照表)①
- 8.財務分析(貸借対照表)②
- 9.設備投資・減価償却費の推移
- 10.業績予想の修正について
- 11.配当予想の修正について
- 12.計測・計量機器事業 通期見通し-1
- 13.計測・計量機器事業 通期見通し-2
- 14.医療・健康機器事業 通期見通し-1
- 15.医療・健康機器事業 通期見通し-2
- 16.31年3月期通期見通し(全社合計)
- 17.X線検査機『AD-4991シリーズ』
- 18.(株)ホロンの連結子会社化
- 19.タイヤ試験機用 高精度模擬路面
- 20.新製品黒球付き熱中症指数モニター
- 21.健康診断データ自動収集システム
- 22.補足資料

- 売上については、半導体関連・自動車関連機器を中心に、計測・計量機器事業が好調で、前期比で10.0%伸長し、上期予想を超過達成。
- 利益については、売上予想の達成に加え、開発費を含む販管費の抑制により、予想を大幅に上回った。

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)

連結損益	30/3期 2Q累計	31/3期 2Q累計	前期比 増加率	2 Q 累計予想	予想比
売上高	19,089	21,004	+10.0%	20,600	+2.0%
売上原価	10,532	11,891	+12.9%	11,700	+1.6%
販売費及び 一般管理費	8,242	8,764	+6.3%	8,700	+0.7%
営業利益	315	349	+10.7%	200	+74.4%
経常利益	361	401	+11.1%	150	+167.7%
税引き前 利益	361	427	+18.2%	170	+151.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	174	306	+75.3%	100	+205.8%
1株当たり 利益(円)	8.51	14.93	+75.4%	4.88	+205.8%

(注) 1. 2Q累計予想は、8月3日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1

(単位：百万円)

セグメント		30/3期 2 Q累計	31/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
計測・計量 機器事業	売 上	11,298	13,077	+15.7%	12,250	+6.7%
	売 上 原 価	6,439	7,472	+16.0%	7,110	+5.1%
	販 管 費	4,675	4,936	+5.6%	4,830	+2.2%
	営 業 利 益	184	669	263.8%	310	+115.8%

1. DSP機器・電子ビームユニット関連をはじめ全体的に売上伸長。

⇒売上は前期比で15.7%増加

2. 売上増加に加え、開発費を含む販管費の抑制により営業利益が大幅に増加。

⇒営業利益は前期比で263.8%増加

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	30/3期 2Q累計	31/3期 2Q累計	前年 同期比	2Q 累計予想	予想比
計測機器	1,550	1,380	-11.0%	1,360	+1.4%
計量機器	7,465	8,288	+11.0%	8,180	+1.3%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	1,950	2,334	+19.7%	2,180	+7.0%
電子ビーム 関連ユニット	334	1,075	+222.4%	530	+102.9%
売上合計	11,298	13,077	+15.7%	12,250	+6.7%

計測機器

：大型試験機が苦戦し前期比で売上減少。

計量機器

：金属検出機・ウェイトチェツカ等の検査機器および工業計測機器が順調に売上を伸長。

DSP

：自動車関連のタイヤ試験機や力計測システムを中心に好調で売上伸長。

電子ビーム関連ユニット

：(株)ホロンの子会社化および半導体関連製品の好調により、売上が大幅に伸長。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		30/3期 2Q累計	31/3期 2Q累計	前年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
医療・健康 機器事業	売 上	7,791	7,927	+1.7%	8,350	-5.1%
	売 上 原 価	3,827	4,033	+5.4%	4,590	-12.1%
	販 管 費	2,844	3,143	+10.5%	3,140	+0.1%
	営 業 利 益	1,120	751	-33.0%	620	+21.1%

1. 海外における健康機器の拡販策により売上は増加。

⇒売上高は前期比1.7%増加

2. 海外子会社においてシェア維持・拡大のための価格政策の結果、
2Qでは利益率が低下し、営業利益は前年比で減少。

⇒営業利益は前期比33.0%減少

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	30/3期 2Q累計	31/3期 2Q累計	前期比	2Q 累計予想	予想比
医療機器	1,598	1,566	-2.0%	1,670	-6.2%
健康機器	6,192	6,361	+2.7%	6,680	-4.8%
売上合計	7,791	7,927	+1.7%	8,350	-5.1%

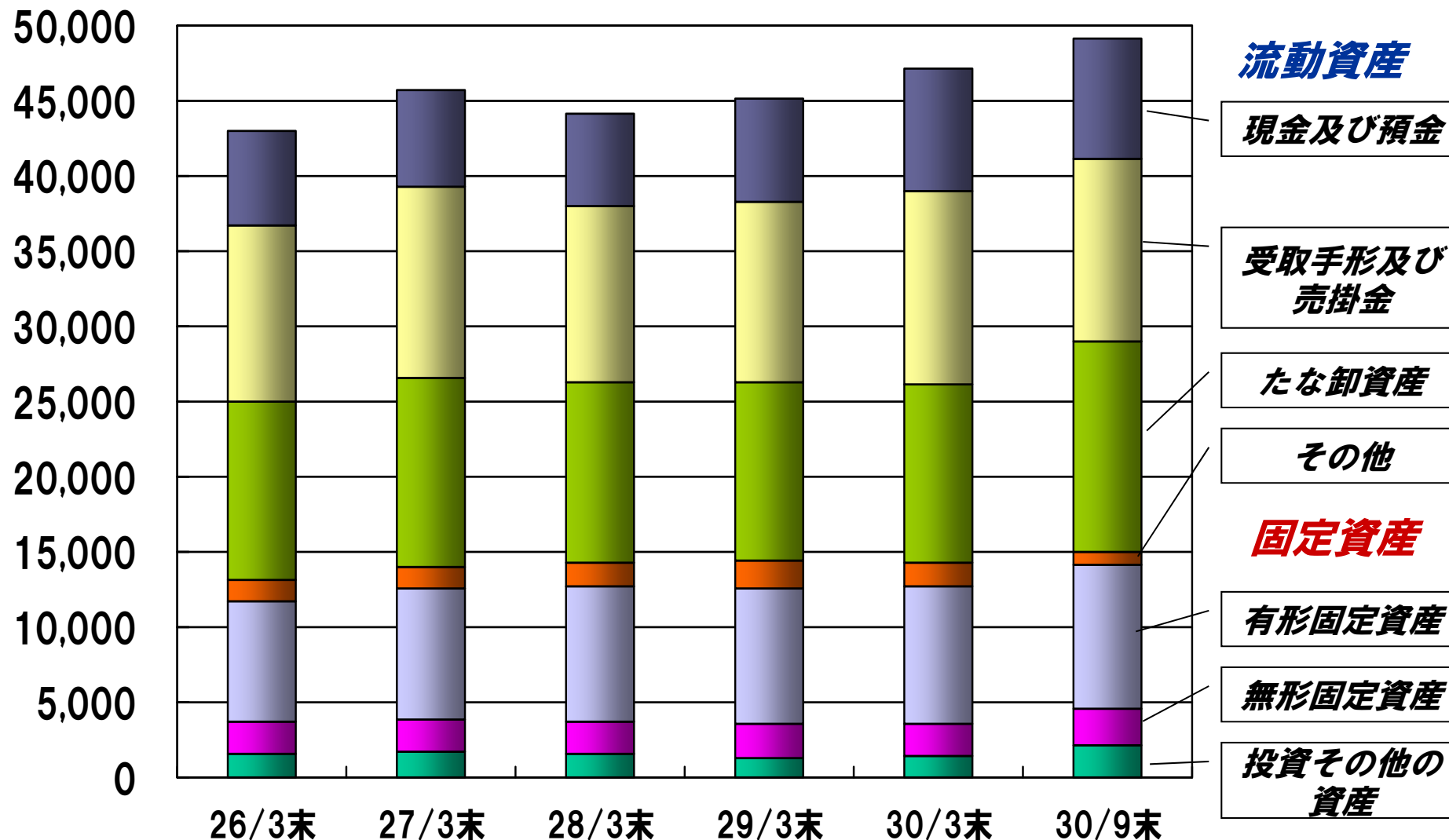
医療機器：国内での水銀製品廃止の代替え需要が一巡し売上減。

健康機器：ロシアおよび北米の子会社を中心に拡販策を行い売上は伸長。

財務分析（貸借対照表）①

■ 貸借対照表分析 資産の部

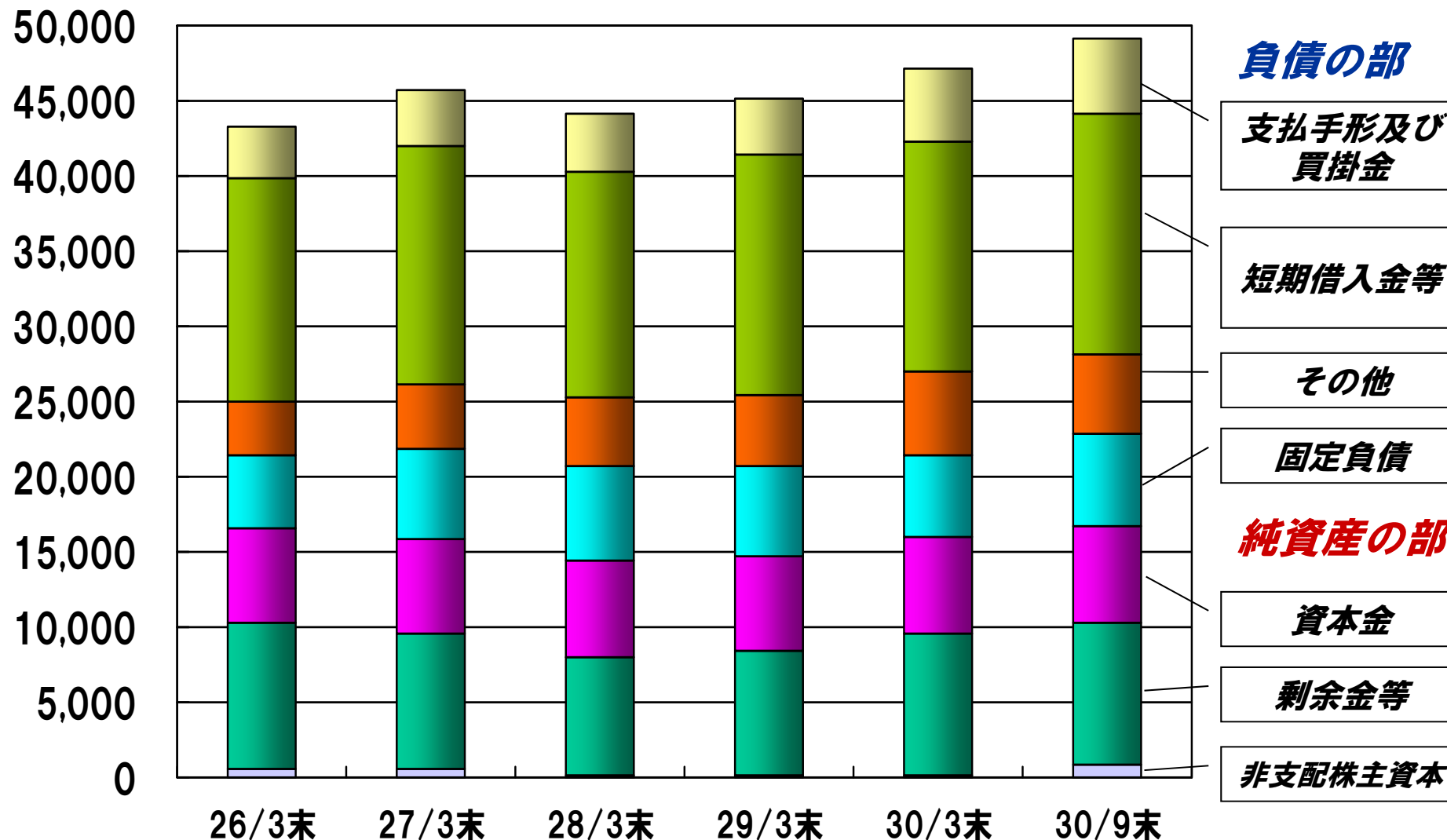
(単位：百万円)



財務分析（貸借対照表）②

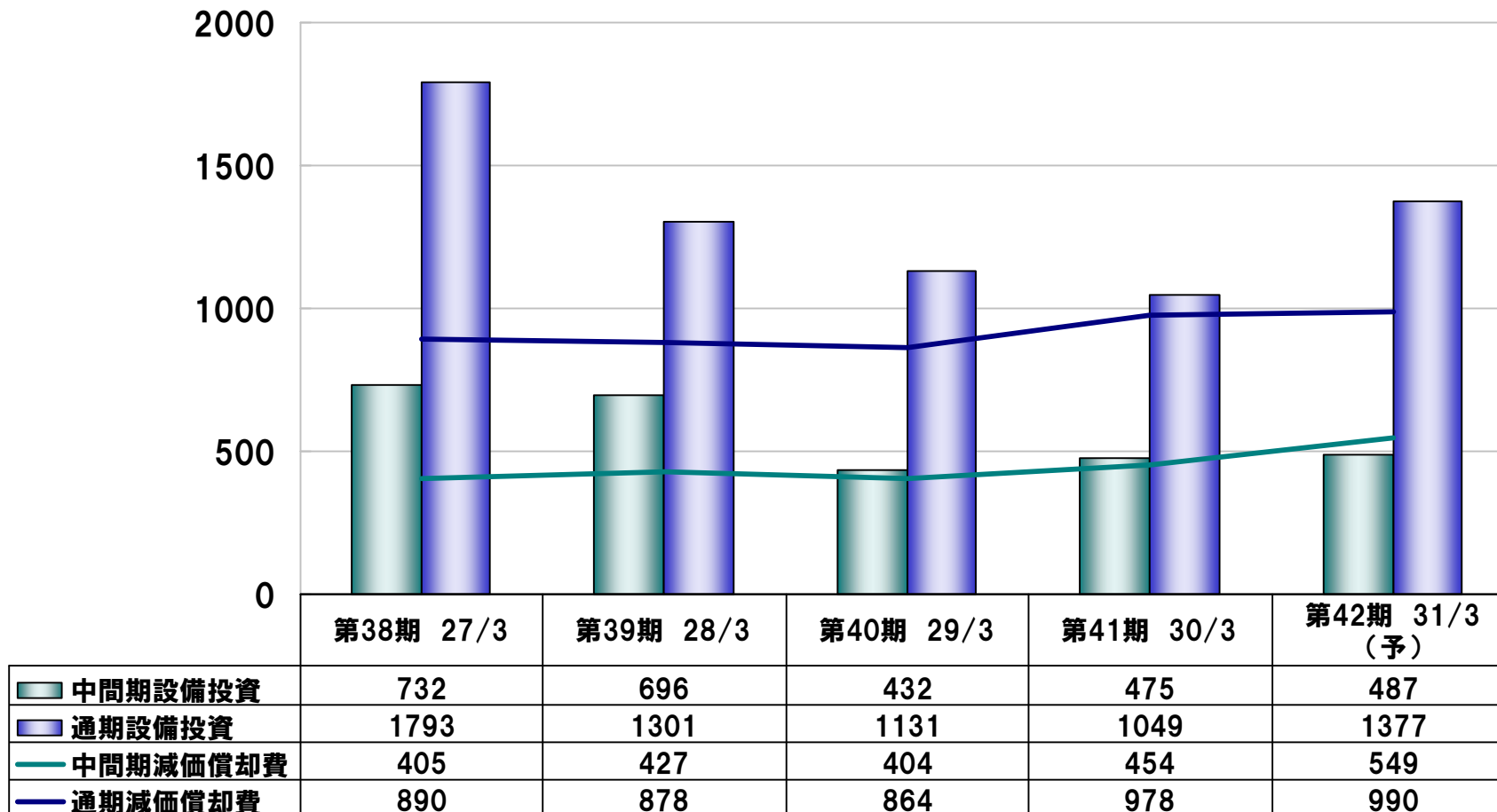
■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



第38期は大型試験機の組立工場新築・用地拡張、第39期はベトナム工場新設、第42期は韓国工場移転準備のため、設備投資が増加。

業績予想の修正について

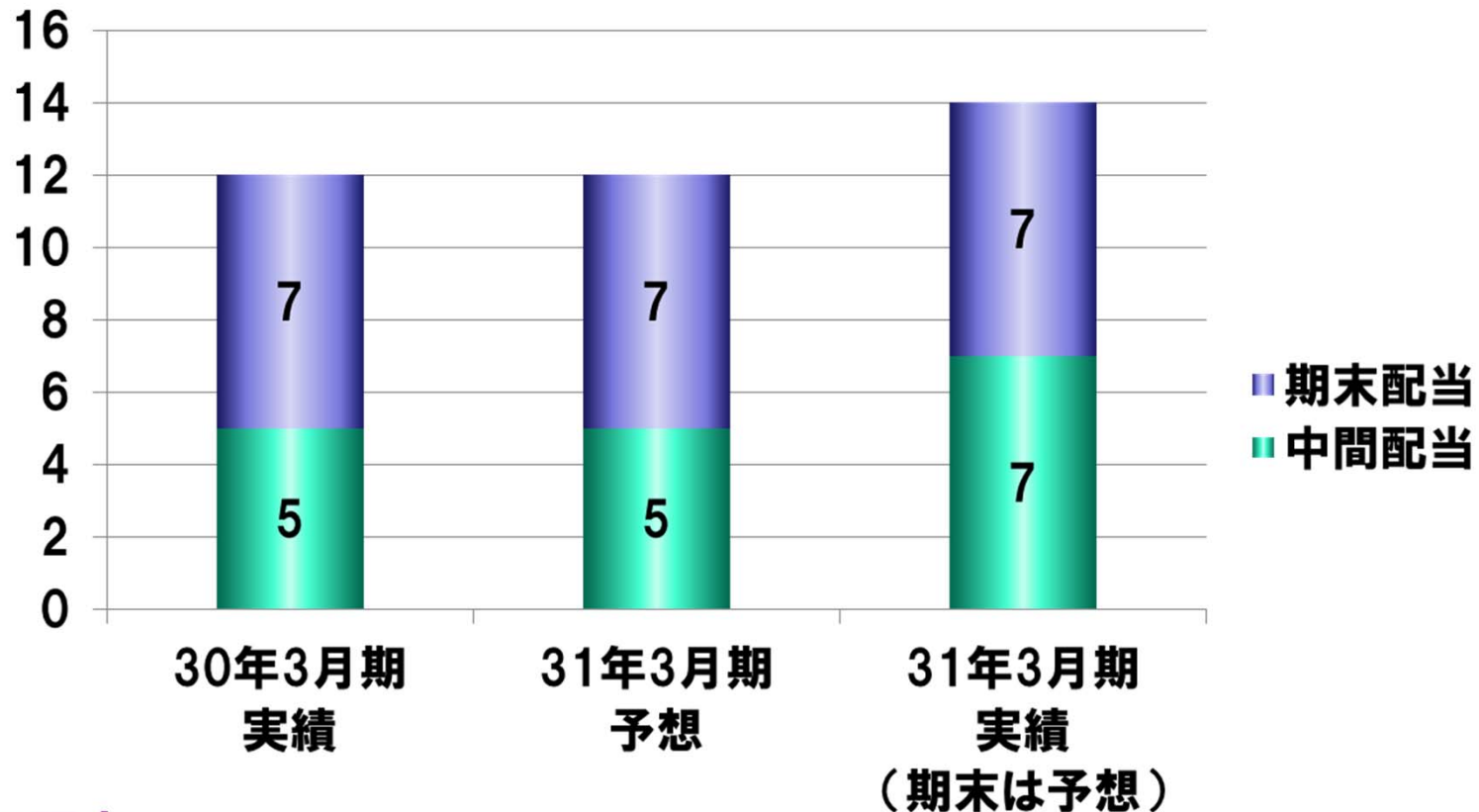
(単位：百万円)

	上期業績予想			通期業績予想		
	前回発表予想 (H30.8.3発表)	実績 (H30.11.6発表)	増減額	前回発表予想 (H30.8.3発表)	今回修正予想 (H30.11.6発表)	増減額
売上高	20,600	21,004	404	47,300	49,300	2,000
営業利益	200	349	149	2,700	3,300	600
経常利益	150	401	251	2,500	3,200	700
親会社株主に帰属 する当期純利益	100	306	206	2,000	2,400	400
1株当たり利益 (円)	4.88	14.93		97.62	117.14	

修正の理由

- ・売上高については1Qに子会社化した(株)ホロンを中心とする半導体関連と、設備投資が活発な自動車業界向けの計測・制御システム(DSPシステム)がそれぞれ好調で、上期業績予想を上回った。
- ・生産性改善による原価率の改善、および販管費の抑制により営業利益も予想を上回った。
- ・また、為替相場が想定より有利に推移したことにより、経常利益も予想を上回った。
- ・上期の好況は下期も継続すると見込まれることから、特に通期の半導体機器関連、計測・制御シミュレーションシステム(DSPシステム)を中心に最新の見通しを踏まえて業績予想についても見直すこととした。

配当予想の修正について



修正の理由

当社は配当政策として、連結配当性向10%以上を目処とすることを基本方針としておりますが、当第2四半期の業績が目標を超過達成し、通期見通しにつきましても大幅な上振れが予想され上方修正を行ったことから、中間配当を当初予定5円から2円を上乗せし、7円に増配するものであります。

計測・計量機器事業 通期見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	30/3期 (実績)	31/3期		31/3期 (予想)	前期比	
		上期実績	下期予想			
計測・計量 機器事業	売上	26,675	13,077	17,823	30,900	+15.8%
	売上原価	15,677	7,472	10,378	17,850	+13.9%
	販管費	9,308	4,936	5,154	10,090	+8.4%
	営業利益	1,690	669	2,291	2,960	+75.1%

1. 売上

業績が好調な電子ビーム（半導体）関連およびDSP機器を中心に、前期比15.8%の売上増加を見込む

2. 営業利益

売上の増加に伴い営業利益が増加

(注) 31年3月期予想は、11月6日付の「平成31年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異、剰余金の配当(中間配当)及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想であります(以下同じ)。

計測・計量機器事業 通期見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	30/3期 (実績)	31/3期		31/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計測機器	3,970	1,380	2,220	3,600	-9.3%
計量機器	15,306	8,288	8,912	17,200	+12.4%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	6,442	2,334	4,466	6,800	+5.5%
電子ビーム関連ユニット	955	1,075	2,225	3,300	+245.4%
売上合計	26,675	13,077	17,823	30,900	+15.8%

計測機器：

計量機器：

DSP：

電子ビーム関連ユニット：

- ・材料試験機および油圧試験機を中心に拡販
- ・成長分野と位置付ける検査機器（ウェイトチェッカ／金属検出機／X線検査機）、工業計測機器、ラボラトリ機器の拡販を継続
- ・自動車関連はEVおよび自動運転へのシフトに追随すべく開発を行うほか、航空・宇宙・鉄道等、他分野への拡張を図る
- ・新たに子会社化した(株)ホロンとのシナジーによる新市場・新製品の開拓

医療・健康機器事業 通期見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	30/3期 (実績)	31/3期		31/3期 (予想)	前期比	
		上期実績	下期予想			
医療・健康 機器事業	売上	17,446	7,927	10,473	18,400	+5.5%
	売上原価	9,255	4,033	5,807	9,840	+6.3%
	販管費	6,068	3,143	3,107	6,250	+3.0%
	営業利益	2,123	751	1,559	2,310	+8.8%

1. 売上

引き続き新製品の投入、新興市場の開拓等に努め、前期比5.5%の増収を図る

2. 営業利益

材料費の高騰、競合との価格競争など市場環境は厳しいが、販売拡大および販管費の抑制等により、営業利益の確保に努める

医療・健康機器事業 通期見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	30/3期 (実績)	31/3期		31/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医療機器	3,231	1,566	1,784	3,350	+3.7%
健康機器	14,215	6,361	8,689	15,050	+5.9%
売上合計	17,446	7,927	10,473	18,400	+5.5%

医療機器：・新製品投入および海外市場の開拓促進による販売拡大

健康機器：・新製品投入および新興国市場の開拓促進

- ・IT技術活用により、スマートフォンユーザーおよび在宅医療・医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸長を図る

31年3月期通期見通し（全社合計）



（単位：百万円）

連 結 損 益	30/3期 (実績)	31/3期		31/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売 上 高	44,120	21,004	28,296	49,300	+11.7%
売 上 原 価	24,972	11,891	16,209	28,100	+12.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	16,770	8,764	9,136	17,900	+6.7%
営 業 利 益	2,379	349	2,951	3,300	+38.7%
経 常 利 益	2,333	401	2,799	3,200	+37.2%
税 引 き 前 利 益	2,333	427	2,793	3,220	+38.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,828	306	2,094	2,400	+31.3%
1 株 当 たり 利 益 (円)	89.22	14.93	102.21	117.14	+31.3%

（注）1. 31年3月期通期予想は、11月6日付の「平成31年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異、剰余金の配当（中間配当）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想であります。

2. 想定為替レート：1ドル=上期105円→下期110円、1ルーブル=上期1.9円→下期1.7円

トピックス1 X線検査機『AD-4991シリーズ』



“食の安全”に貢献するスリムデザインのX線検査機（計測・計量機器事業）



X線検査機は、生産ライン上で自動的に異物検査や形状検査などを行う検査機です。

被検査物にX線を照射することにより、被検査物を破壊することなく、異物を発見することができます。

HACCPの導入・普及など、食品の安全性に対する要求度が高まっている昨今、食品工場での商品出荷前検査にご採用いただくことで、安全な食品の供給に貢献しています。

製品の特長

- ・見やすい15インチカラータッチパネル
- ・スリムデザイン設計による小型/省スペースを実現
- ・1,000品種登録（画像データも一緒に保存）
- ・どなたでも使いやすい、直観操作
- ・USBメモリを用いた画像のインポート入力およびレポート出力

トピックス2 (株)ホロンの連結子会社化

当社は(株)ホロン（証券番号：7748 JASDAQ市場）の普通株式を公開買付けにより取得し、平成30年6月に同社を連結子会社化いたしました（計測・計量機器事業）。

当社は(株)ホロンの株式を30.58%保有し、同社を持ち分法適用関連会社としておりましたが、このたびの平成30年6月に実施した公開買付けにより所有割合を51.00%とし、連結子会社化いたしました。

当社が創業以来、半導体製造装置関連事業として電子ビーム露光装置向けD/A変換器（デジタル／アナログ変換器）や電子銃の開発を行ってきた一方、(株)ホロンは半導体の製造工程の検査に用いる走査型電子顕微鏡を応用したマスク用CD-SEMとマスク用DR-SEMを主力製品としております。

両社のリソースを最大限利用し、両社のより一層の企業価値向上を図るため、具体的に、半導体関連機器、電子ビーム及びイオンビーム応用装置に関わる事業における、製品開発、製造・生産、販売及び保守に関わる協力によりシナジーの実現を目指してまいります。

トピックス3 タイヤ試験機用 高精度模擬路面

3Dプリンタの応用による実路面再現（計測・計量機器事業）

既存のドラム式タイヤ試験機などの仕様を大きく変更することなく、試験機に直接貼り付けることを目的に開発した模擬路面です（業界初）。

対象の実路をレーザースキャナで計測・データ化し、高性能3Dプリンタによって路面性状を正確に再現・作成します。素材は、特殊ゴムあるいは特殊樹脂を使用しており、用途や使用機種に応じてその硬度や素材スペックを選ぶことができます。

路面情報はデータとして保存されているため、追加の製作は実路の再計測をすることなく、短納期での供給が可能です。

これにより、実際の路面を走行したときのタイヤやサスペンションなどの状態を既存の台上試験機で再現することが可能になります。



ドラム式試験機への適用例



ベルト式試験機への適用例

トピックス4 新製品情報（計測・計量機器）

黒球付き熱中症指数モニター『みはりん坊プロ/AD-5698』

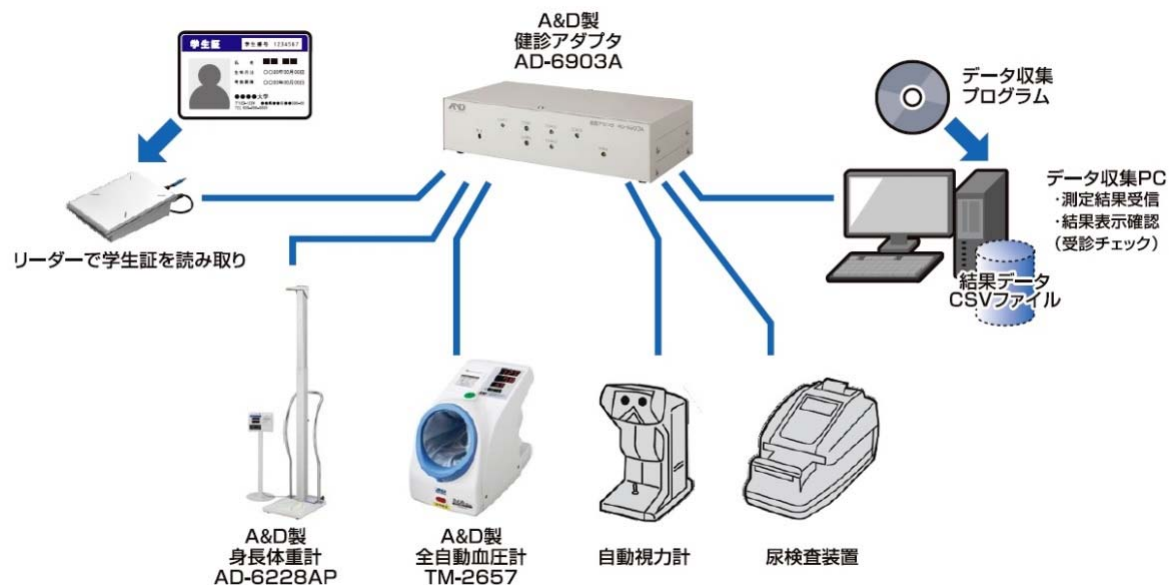


- ・「みはりん坊プロ/AD-5698」は、日常生活や労働環境、スポーツなどにおける熱中症予防のためのWBGT指数を簡単に知ることができる製品で、熱中症の発症リスクを把握するために使用することができます。
- ・輻射熱の測定も可能な黒球付きでポータブルな仕様は当社独自のもので、JIS規格にも準拠しており、その利便性と信頼性からユーザー様より多くご採用いただいております。
- ・工場、道路工事、建設工事、農作業など、暑熱の作業現場や屋外や体育館、学校などにおけるスポーツでの安全管理に役立ち、この夏の猛暑でも大活躍いたしました。

トピックス5 医療ICTの取り組み（医療・健康機器）

健康診断データ自動収集システムによる健診のIT化

- ・手書き・手入力によるマニュアル運用から、データ収集の自動化へ、最小の機器構成による簡単で廉価なデータ収集システムの構築が可能。
- ・導入いただいた大学の健診センターなどでは、健診の無人化や、スピード化、健診後のデータ処理時間の短縮化が実現されています。



健診データ自動収集システムのイメージ図

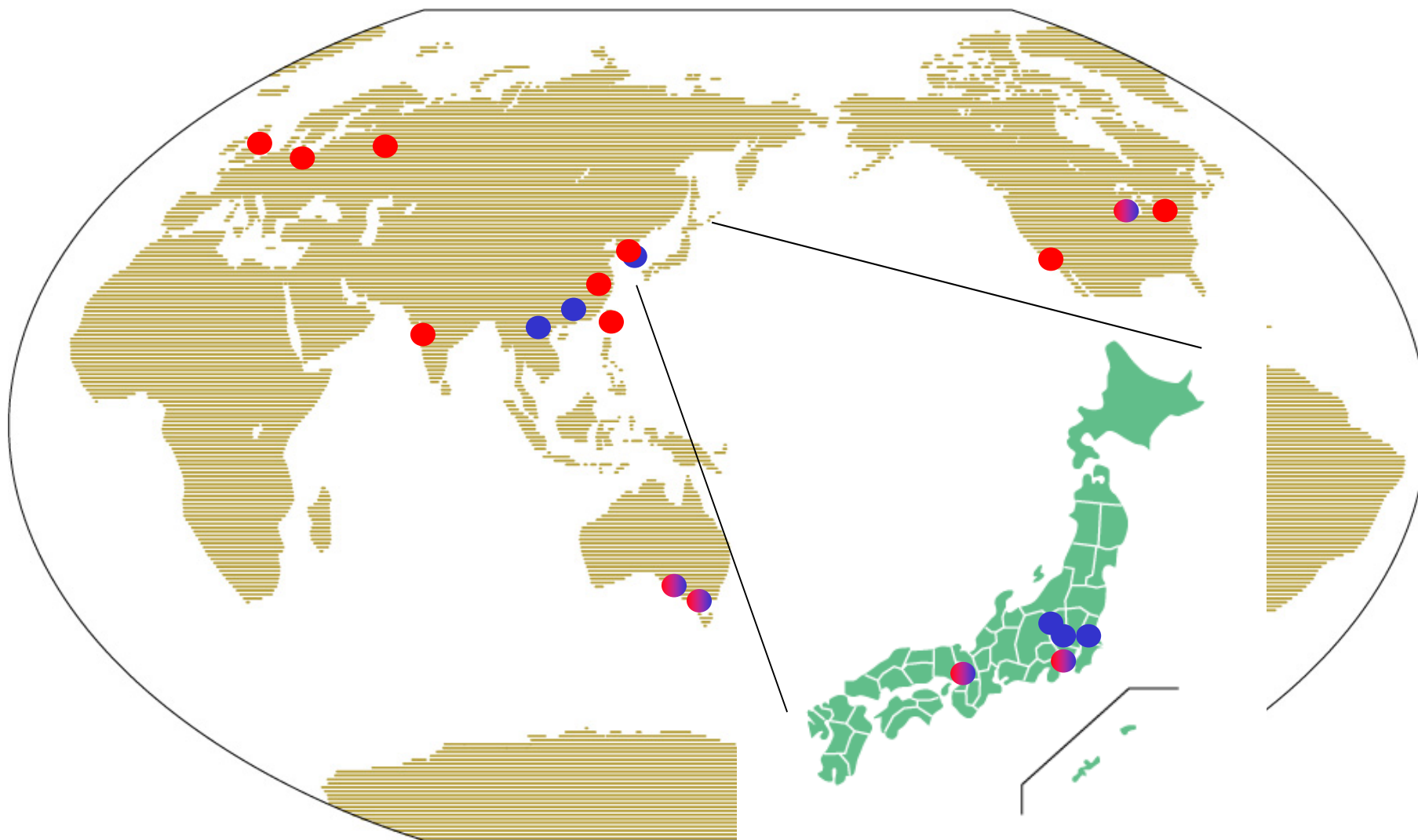
AND
Discover Precision

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは（1）
- 6 DSPシステムとは（2）
- 7 DSPシステムの採用事例－1
- 8 DSPシステムの採用事例－2
- 9 DSPシステムの採用事例－3
- 10 電子ビーム関連ユニット
- 11 工業計測機器
- 12 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社**
- 販売関係会社**

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



自動車排気ガス分析計



油圧疲労試験機

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用
ウェイトチェッカ	コンベア搬送中の物品の計量及び制御を行う	製造ラインでの商品の全数検査の自動化や、質量の検査、質量による選別に使用
金属検出機	電磁誘導等を利用して被検査物内の異物（金属）の検出を行う	食品・医薬品等製造・加工工程における異物の検出に使用



分析用天秤



防水電子台秤



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル



ウェィトチェッカ

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等	
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定	
		血 圧 監 視 装 置	SpO2 (動脈血酸素飽和度) と血圧を同時監視	
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定	
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定	
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示	
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録	
		バリアフリースケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すりにつかまった状態で安全に計測	
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル	上腕式 手首式	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		血 圧 計		小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和	
		体 重 計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示	

上腕式家庭向血圧計

バイタルセンサ



超音波吸入器

家庭向体重計



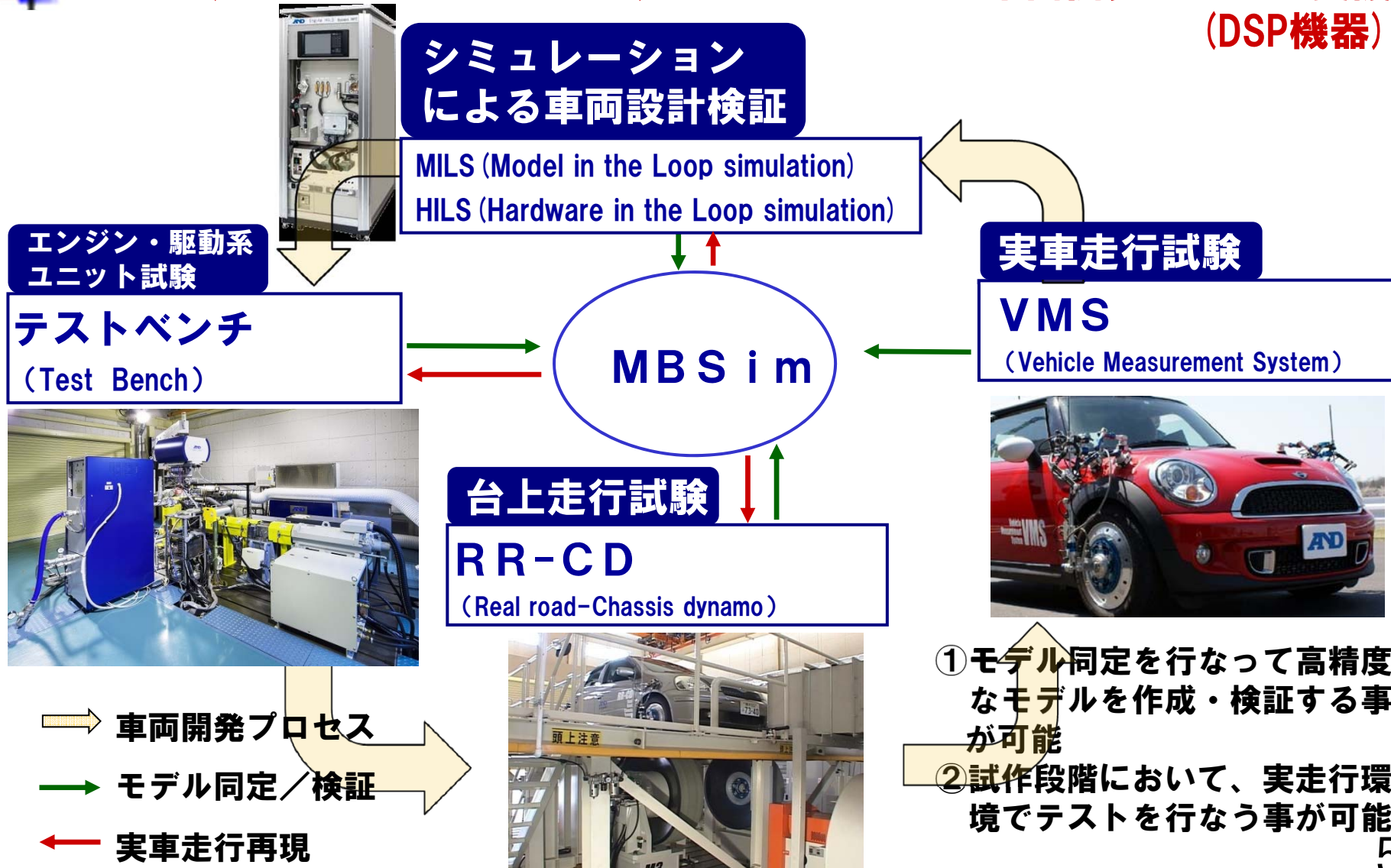
全自動血圧計



ストレッチャー
スケール

DSPシステムとは(1)

MBSim (Model Based simulation) コンセプトによる車両開発プロセス支援 (DSP機器)



DSPシステムとは（2）

テストベンチシステムについて

■ テストベンチシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです



エンジンの試作品

つないでテストする



エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

■ 対象となるマーケット

◇自動車メーカー及び部品メーカー

※国内自動車メーカーはほぼ全ての会社に参入済み
アメリカはM&A、欧州は業務提携で世界にも進出

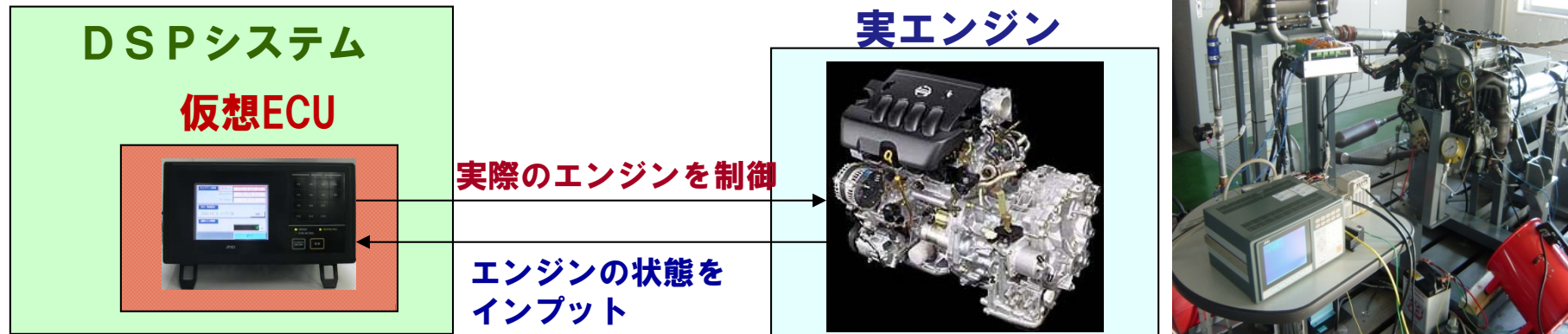
◇航空・宇宙産業やロボット産業

※現在エンジニアリングノウハウを吸収中

DSPシステムの採用事例－1

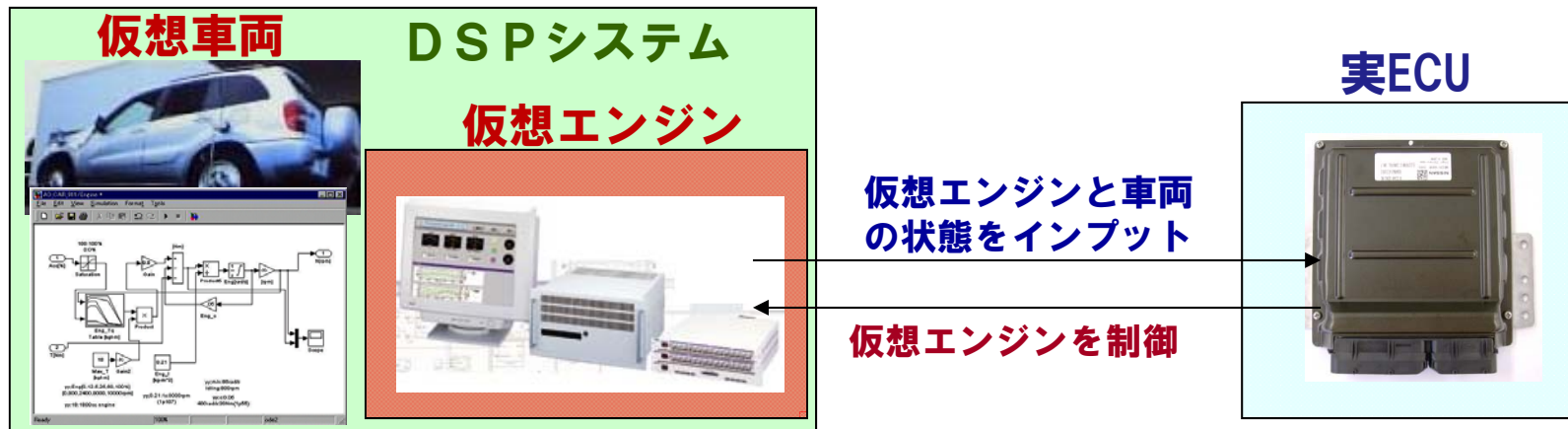
RPT (Rapid Proto Type)

コンピューター上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピューター上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例-2

ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

2. ORIONの特徴

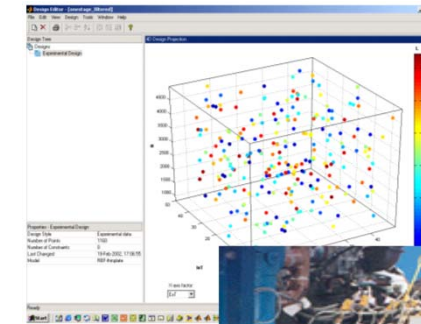
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

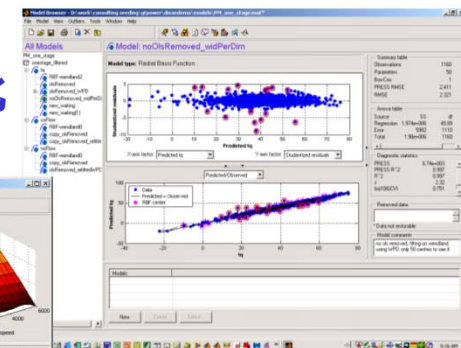
実験計画



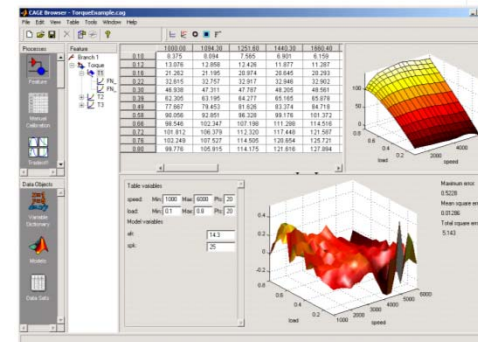
評価試験



ECUのモデル化



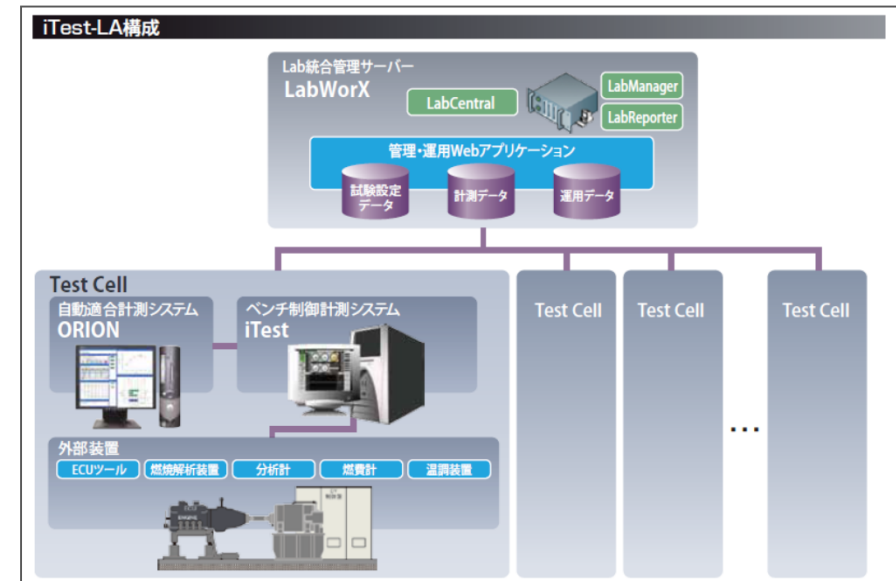
適合



DSPシステムの採用事例－3

統合開発環境（iTest-LA）について

iTest（適合試験、性能試験に必要な標準アプリケーション）を中心とする、開発試験運用全体をトータルでサポートするシステム。
試験運用全体での効率化や、将来を見据えた拡張が可能なシステムを提供。



《統合開発環境を構成する製品群》

- LabWorX
設定、試験運用管理、遠隔モニター、データ管理機能を持つ**サーバーシステム**
- ORION
高品質なDoEモデリングが可能な**適合自動計測システム**
- iTest
ベンチの基本計測・制御システム（LAシステム/Ausy）
- ANDROMEDA
過渡試験（モード、Simulation運転）に対応する **ベンチ制御コントローラー**

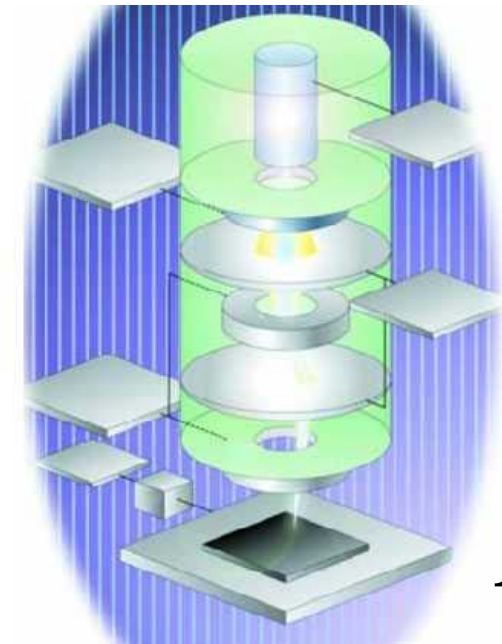
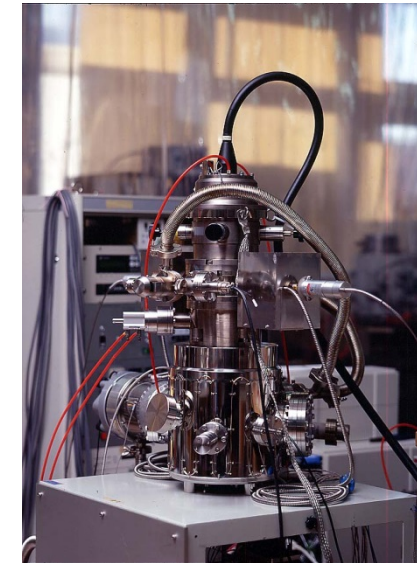
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています

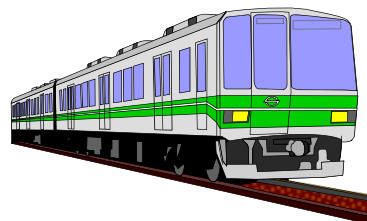


工業計測機器

アンプ



列車走行試験

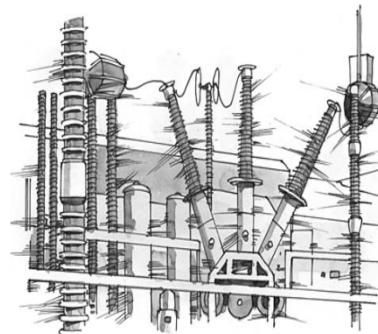


列車走行安全測定装置

レコーダ

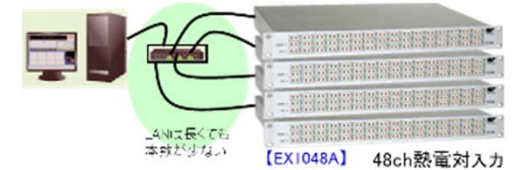


鉄・非鉄のライン点検

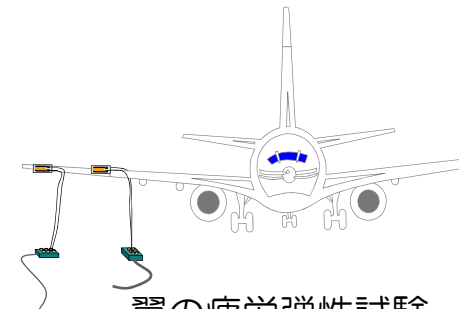


遮断試験、CVCF・UPSの異常測定

ロガー



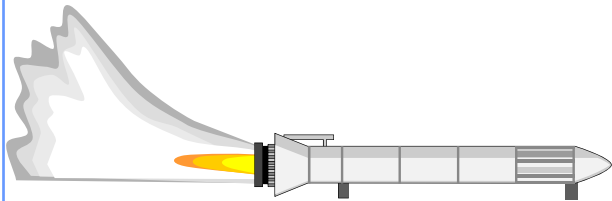
大型建造物、橋梁、橋桁の疲労試験



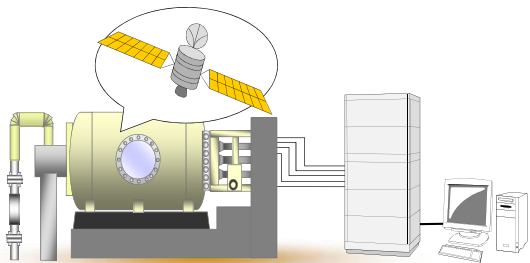
翼の疲労弾性試験

工業計測機器

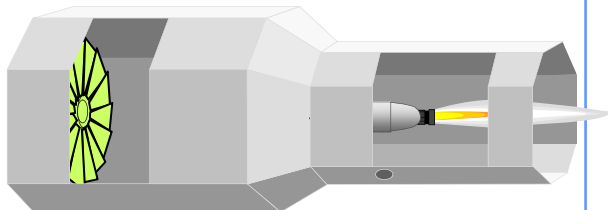
航空・宇宙向け



ロケットエンジン燃焼試験装置

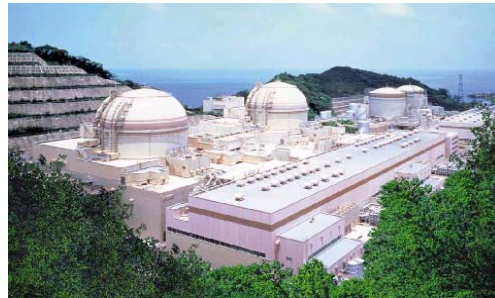


真空チャンバ内での熱負荷試験



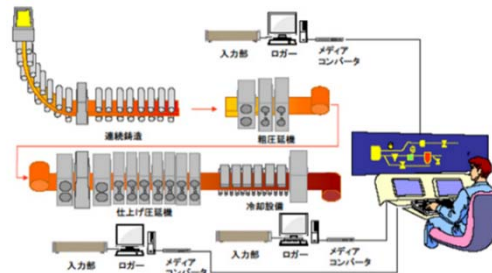
燃焼風洞実験計測システム

原子力・電力向け

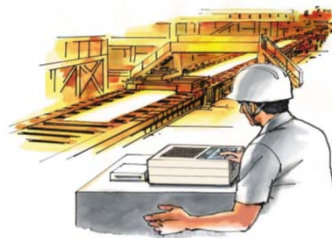


原発の過度現象測定システム

鉄鋼向け

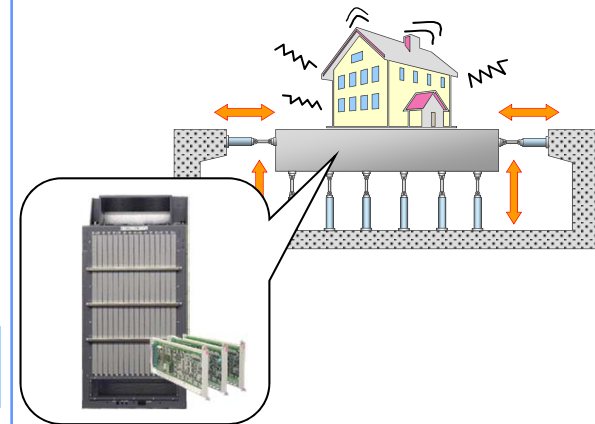


圧延ライン用分散計測システム

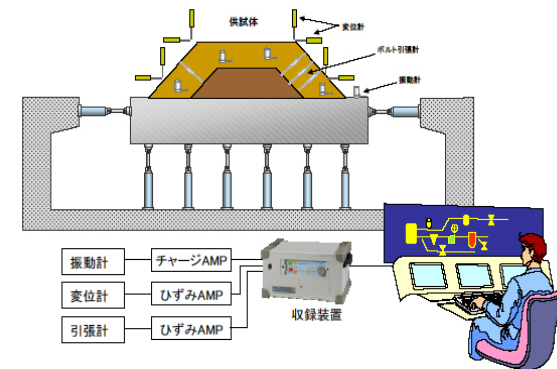


品質管理用計測レコーダ

ゼネコン・重工向け



大型振動台 データ測定システム



地滑り実験計測システム

開発の状況



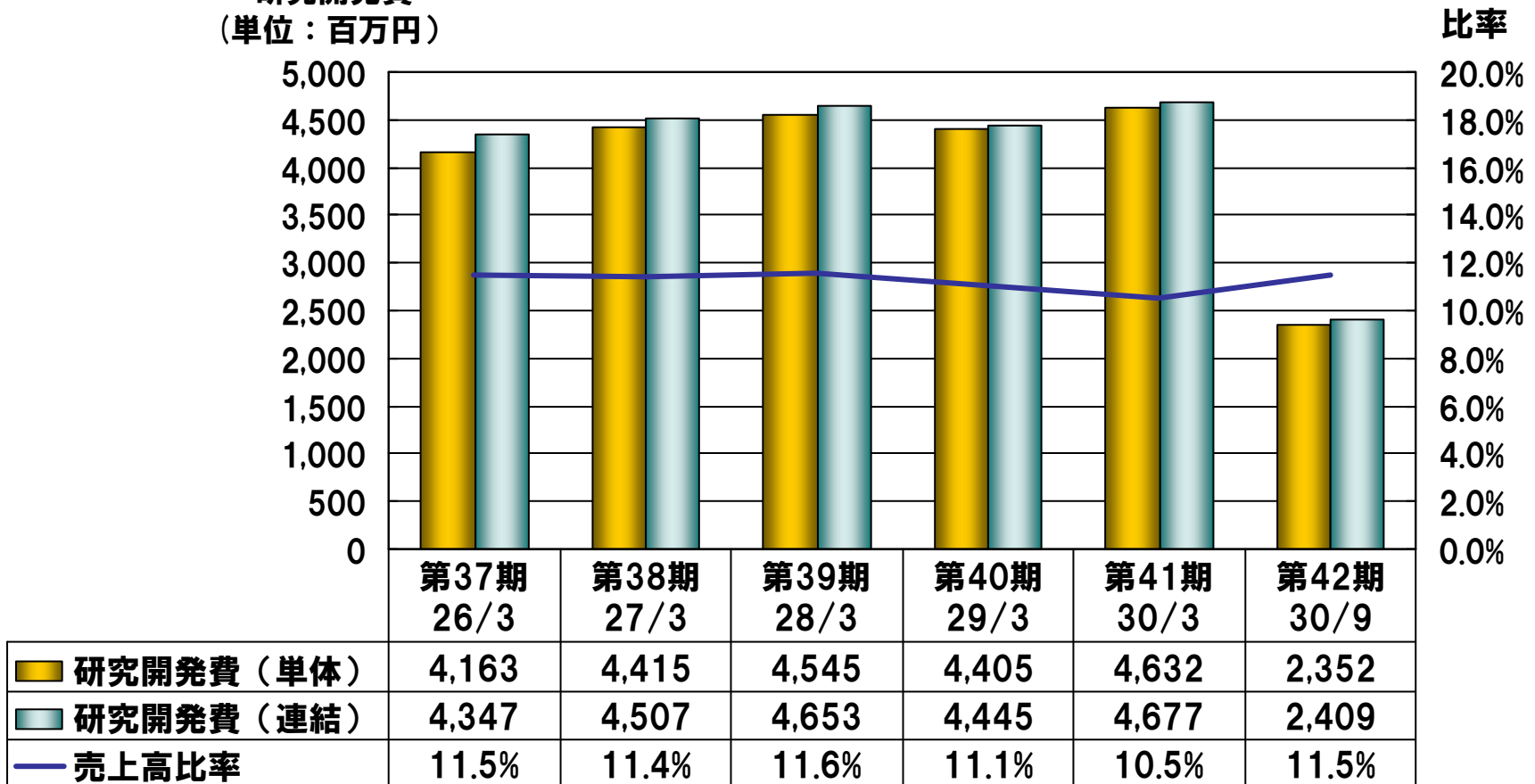
社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成30年9月末/A & D単体)

開発人員数 386名

開発人員比率 53.8%

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結ベースで算出

AND
Discover Precision